

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	道の駅広報誌地域情報発信事業	事業経緯	継 続	実施体制	主 催	担当所属	企画事業部
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業			事業区分	調査、資料収集

1. 事業目的

本事業は、「観光立国」を掲げる国の施策に対応し、北陸地域でも交流人口の拡大が予想される機をとらえ、圏内の道の駅で配布されるフリーペーパーに社会資本整備を通じた地域づくりの情報を掲載することで、北陸を訪れる道路利用者(不特定者)に地域の魅力を発見してもらうとともに、社会資本整備への関心・理解の深化を図るものである。

2. 事業実施体制

情報提供: 一般社団法人 北陸地域づくり協会
媒 体: 「道の駅 旅案内 北陸版」(株)ゼンリン発行)

3. 事業実施概要

◆媒体概要

- ・媒体名: 「道の駅」旅案内 北陸版((株)ゼンリン発行)
- ・2015年3月に創刊号発行
- ・今年度は、2024年秋冬号(9月)、2025年春夏号(3月)の2回発行
- ・仕様: B4判カラー、見開き2ページ(本事業当該情報掲載)
- ・北陸管内「道の駅」に各号10万部を無料配布

◆掲載情報概要

これまでの「行って、見て、知ってもらう」インフラツーリズムの方針を踏襲しつつ、昨年度から全7回シリーズ「ほくりくのまちづくりを巡ろう」と題して、地域のまちづくりとまちづくりを取り組む人達にスポットを当てるとともに、まちづくりを支えるインフラやインフラに関わる地勢等を紹介

【2024秋冬号】

金沢東山と加賀市大聖寺の歴史的街並みや建物の保全事業の取り組みを取り上げ、合わせてそれぞれの地域を支える団体の取り組みを紹介するとともに、地域の利便性や安全を図るインフラとして「金沢外環状道路」と「梯川治水プロジェクト」を紹介

【2025春夏号】

歴史・伝統文化の保存・継承のまちづくりが進む会津若松七日町通りと南魚沼市牧之通りの取り組みを取り上げ、合わせてそれぞれの地域を支える団体の取り組みを紹介するとともに、地域の利便性や安全を図るインフラとして「阿賀川治水事業」と「国道17号六日町バイパス」を紹介

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

「道の駅 旅案内」北陸版は発刊から21号を数え、毎回発刊直後に在庫がなくなるほどの人気を博しており、多くの道路利用者に愛読されている。
道路ユーザーが誌面で紹介された地域を訪れ、その地域の振興・活性化に大きく貢献することが期待できるとともに、今までとは異なるアプローチから社会資本整備の知識を得ることで、その重要性を理解する手段として有効である。



↑ 2024秋冬号(2024.9発行) / 2025春夏号(2025.3発行) ↓

